

理学療法学科

アドミッションポリシー

■理学療法学科が求める学生像

自己研鑽力のある理学療法士の育成

教養から専門科目に至るまで一貫して、問題意識の発展のさせ方や知識の蓄積方法、物事の考え方や論理的思考方法、科学的手続きが理解できる教育に重点をおいています。

臨床能力の高い理学療法士の育成

患者さまに最良で具体的な利益を提供できるように幅広い視点から対応できる実践能力を養う教育を中心に据えています。

理学療法に科学的根拠を付加する仕事に貢献できる理学療法士の養成

演習や実技、実験形式の授業の中で、仮説証明作業の習慣を日常的にトレーニングし、理学療法の科学的根拠とは？と問い続ける教育を強化しています。

国際的場面でも活躍できる理学療法士の養成

英語論文の読破力、会話力、海外の理学療法事情への関心についても重要視しています。

■具体的な人物像

- ・なによりも、本学の養成方針と教育に共感し、「鈴鹿で学びたい！」という人
- ・「理学療法士になりたい！」という強い意志がある人
- ・人間が好きで、弱い立場の人々と響き合え、「地味」な仕事に取り組める人
- ・人とのコミュニケーション能力に秀でた人
- ・健康管理も含め体力と粘りのある人
- ・身体の運動科学に幅広く興味がある人

カリキュラムポリシー

■保健衛生学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部には、放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、運動機能回復、介護・福祉、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことによって、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■理学療法学科のカリキュラムポリシー

1. 人間として成長しつつ理学療法の知識と技術身につけるための基礎的な教養を育てる。
2. 身体の構造と機能を中心とする基礎医学および臨床医学を理解できる。
3. 運動機能障害の諸症候を理解するために運動科学を身につけることができる。
4. 各種疾患の理学療法の知識と技術を評価と介入において実践的に理解している理学療法士を育成する。
5. 仮説証明過程を経て人間性豊かな問題解決能力をもった理学療法士を育成する。

ディプロマポリシー

■保健衛生学部のディプロマポリシー

幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得し、豊かな人間性・柔軟な科学的思考力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手としての基本的能力を持つ。また各専門分野において将来、指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支えるために、基礎理論から臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習を基盤とした知識・技術を高めることができる。

■理学療法学科のディプロマポリシー

1. 人間として成長しつつ理学療法の知識と技術を理解するための基礎的な科学知識を身につけている。
2. 身体の構造と機能を中心とする基礎医学および臨床医学を理解している。
3. 運動機能障害の諸症候を理解するために運動科学を身につけている。
4. 各疾患の理学療法評価と介入方法の基本を実践的に理解している。
5. 仮説証明過程を通じて問題解決手法について、倫理的かつ理論的、実践的に理解している。